

学習発表会

11月18日 神石小学校学習発表会を行いました！

「全力！一丸！スマイルいっぱい！」を目標に取り組んだ学習発表会。6年生にとっては小学校最後の学習発表会でした。1人1人が力を100%出し切って学習発表会を成功させることを目標に、全校合唱・トランペット鼓隊・劇をやり切りました！



←全校合唱 ♪「いつだって!」「君をのせて」♪♪

高音と低音に分かれて、「口と目を大きく開けて、しっかりと強弱をつけて歌う」「スタッカートに気をつけて歌う」「自信を持って、堂々と歌う」などの目標を立ててがんばりました。

♪♪トランペット鼓隊♪♪→

今年度の新曲「明日があるさ」は、曲の強弱、特に曲の出だしをそろえること、曲の盛り上がる最後の部分を意識しながら演奏しました。6年生は小学校最後の発表となりました。



発表劇「私たちが未来に伝えたいこと ～小説「黒い雨」から～

井伏鱒二の小説「黒い雨」は、被爆者・重松静馬の『重松日記』をもとに書かれた作品です。



重松静馬は神石高原町小島の出身で、小説「黒い雨」の舞台は神石高原町です。6年生は総合的な学習で、「小説『黒い雨』の生まれた神石高原町から平和の心を広げよう」と活動されている『志麻利』の重松文宏さんにゲストティーチャーとして来ていただき、小説『黒い雨』のことや原爆のおそろしさ、そして平和の大切さについて学び、考え、今回の劇を発表しました。「原爆のおそろしさを伝える『伝承者』になろう!」「神石高原町から平和を発信しよう!」と劇を通して訴えました。



GT に来ていただいて、小説「黒い雨」について聞く教室のシーン



小説「黒い雨」乱塔池のシーン



小説「黒い雨」
重松、妻シゲ子、姪矢須子のシーン



エンディング 乱塔池で「五彩の虹」の意味について考えるシーン

最後に小説「黒い雨」の一節を紹介して、井伏鱒二の思いを伝えました。

8月6日の午前8時15分、事実において、天は裂け、地は燃え、人は死んだ。戦争はいやだ。勝敗はどちらでもいい。早くすみさえすればいい。いわゆる正義の戦争より、不正義の平和のほうがいい。

最高の笑顔かがやく学習発表会になりました！